

賛否の分かれた案件

議案番号等		創造みらい半田												公明党		志民 ネット	チルパ はんだ	無所属			議決 結果				
議案名 () 内は議案の補足説明です。		渡邊 昭司	山本 裕介	芳金 秀展	鈴木 英華	田中 嵩久	澤田 勝	鈴木 幸彦	榎原 瑞輝	竹内 功治	沢田 清	岩田 玲子	石川 英之	山田 清一	坂井 美穂	麻生 七海	中村 和也	小出 義一	伊藤 正興	國弘 秀之		有留 麻由	新美 保博	加藤 美幸	
46	半田市国民健康保険税条例の一部改正について (地方税法施行令の改正に伴い、国民健康保険税の課 税限度額を法定限度額と同額に改めたいとするもの等)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○		
47	地方独立行政法人知多半島総合医療機構第1期中期計 画の認可について (設立団体の長が指示した達成すべき業務運営に関す る目標となる中期目標を達成するために、地方独立行 政法人が作成した計画の認可を求めるもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	

表の見方: 議は議長(採決に加わらない)、○は賛成の議員、●は反対の議員、退は退席の議員、欠は欠席の議員

反対討論

議案第46号・47号に反対

有留麻由議員

議案第46号の国民健康保
険の課税限度額の引き上げ
は、応能負担とはいえず物価
高騰がさらに激しくなる中
働き盛りの世代に対しこれ
以上の負担増は反対です。
議案第47号は4月からの新
病院の第1期中期計画は地
方独立行政法人化されるこ
とで、公の責任が薄れ、採
算性や効率性が重視され心
の通う医療ができるのかと
いう不安があり反対です。

文教厚生委員会 活動報告会 (要旨)

調査テーマ

「子どもの居場所づくり支援体制に
ついて」

現代社会では、子どもたちが安心
して過ごせる場所や、自分が役に立っ
ていると感じられる機会が減少し、
孤独感や孤立感を抱きやすくなっ
ています。特に、中学校を卒業した後の
支援が不足していることが、大きな
課題となっています。

これらの状況を踏まえ、半田市の
子どもたちの現状と課題を把握す
るため、さまざまな関係機関を訪問し
ました。その結果、支援を行う組織同
士の連携が十分でないこと、支援す
る側へのサポートが不足しているこ
と、中高生が利用できる場所が少
ないことなどが課題として浮かび上
がりました。また、文教大学准教授の
青山氏によるオンライン講義を受講
し、子どもたちが「居たい・行きたい・
やってみたい」と感じられる居場所を
作ることが重要であり、子どもたち
が自然と集まりたくなるような魅力
的な環境を整える必要があることを
学びました。

さらに学びを深めるため、「CHU
KORANDUCHONO」「ゆう杉並」「A
IKURUFREE Base」「渋谷区
子育てネウボラ」「アダチベース」を視
察しました。これらの先進的な取組

みから、子どもたちが主体的に関わ
る施設づくり、多様な背景を持つ子
どもたちが自由に活動できる環境づ
くり、切れ目のない支援体制の構築、
学習支援の重要性など、多くの示唆
を得ることができました。

これらの調査結果を踏まえ、当委
員会は半田市に対し、以下の提言を
行いました。

一、子どもが主体的に企画・運営に関
わる居場所を整備し、意見聴取体
制を確立すること。

一、専門性を持つ人材を配置し、効果
的な支援体制を構築すること。

一、公共施設の活用、ユースセンターの
設置、情報ポータルサイトの整備
を行うこと。

一、SNS等を活用し、情報アクセスを
容易にすること。

一、中学校卒業後も支援が途切れない
仕組みを整えること。

一、子どもの居場所づくり支援協議会
などを設立し、関係機関との連携
を強化すること。

一、民間企業のノウハウも活用しなが
ら、居場所の質と量を継続的に向
上させること。

結びに、子どもの意見を丁寧に聞
き取り、一人ひとりにとって居心地の
良い居場所の構築に努めるとともに
支援が必要な子どもたちに適切な支
援が届くよう、多様な居場所の設置
と支援につながる仕組みの構築に取
組んでいただくようお願い申しあげ
ます。